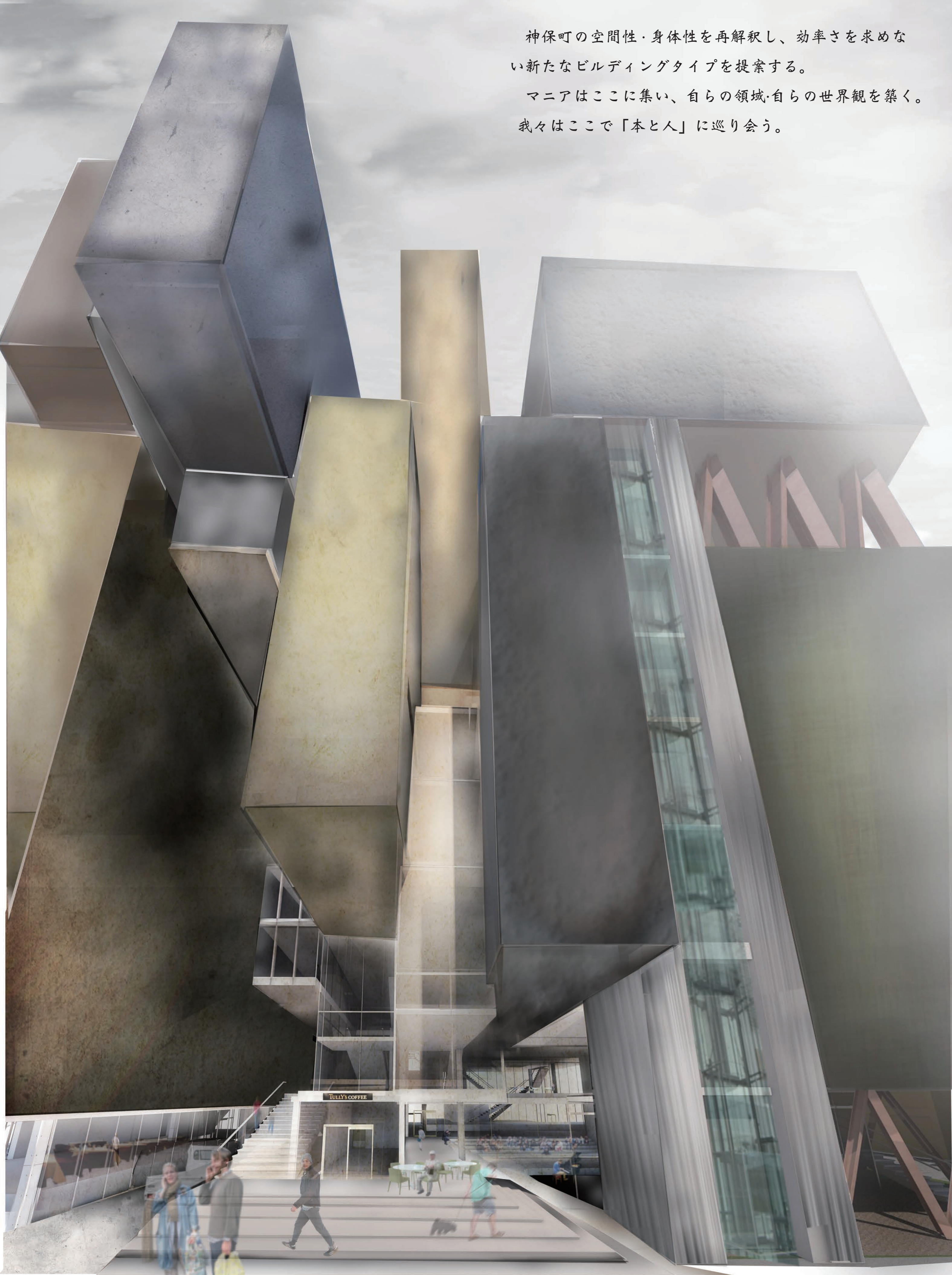


マニアの巡礼



神保町の空間性・身体性を再解釈し、効率さを求めない新たなビルディングタイプを提案する。

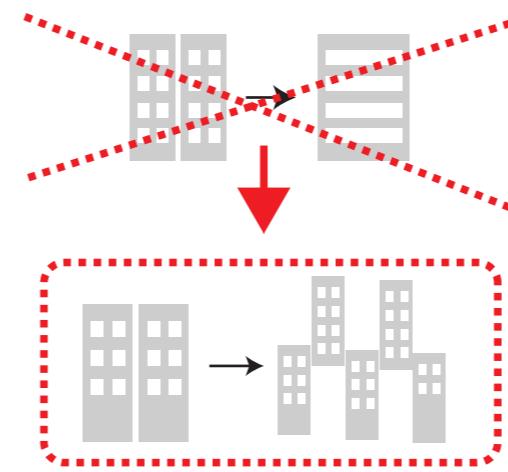
マニアはここに集い、自らの領域・自らの世界観を築く。我々はここで「本と人」に巡り会う。

proposal

1. 過去と現在の対比



かつて、神保町靖国通り沿いには間口の小さな古書店が並び、神保町の街並みや独自の身体性を形成していたが、現在ではビルの開発により間口の大きな建物に変わってきている



小さな間口が連続し、集積した新たなビルディングタイプを提案する

prototype

2. 神保町の空間性

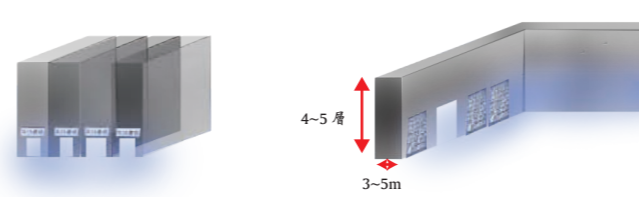
奥性



古書店

靖国通り裏の路地

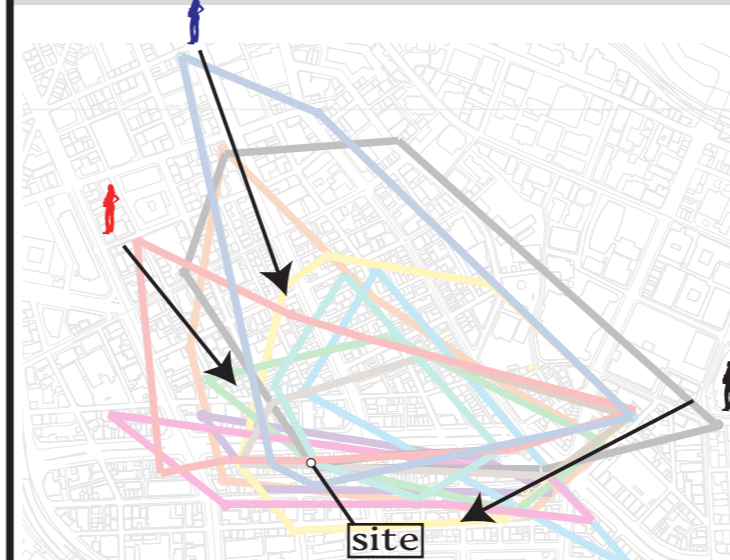
従来の形態



狭い間口に古本が溢れ出し、隣の古書店とは壁により断絶されている。

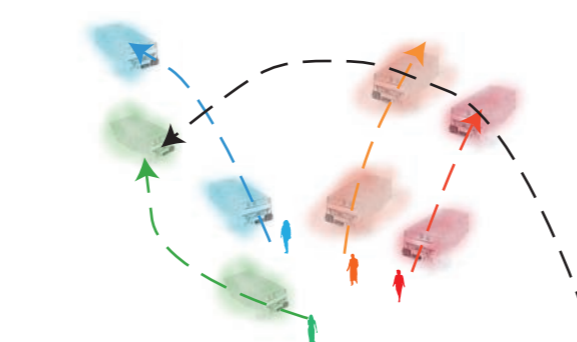
狭い間口と奥行きを持つL字ボリューム側面に入り口を設けることで、溢れ出しを拡張させる

program



神保町には11種類のジャンルが存在し、それぞれのジャンルごとにマニアの生息範囲が散漫に広がっている。それらに中心性を与え、マニアの聖地を作り、一般の人との接点をつくる。

動線計画



マニアは己のジャンルを遡う一般人はジャンルを横断する

